

2 学年だより	魚津市立西部中学校 2 学年だより 第 4 号 令和 8 年 7 月 16 日（木）発行
---------	--

夏休みに向けて

保護者の皆様におかれましては、本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。
さて、生徒たちは、7 月 25 日より長い夏休みに入ります。規則正しい生活をするこ、事故や SNS の使い方等には十分留意していただき、生徒たちが 2 学期も元気に登校できるよう、ご協力よろしくお願いします。

「社会に学ぶ『14 歳の挑戦』」を終えて

＜飲食店＞ 事業所での体験を通して、私は社会の厳しさを学びました。普段何気なく利用している商品やサービスには、多くの人の努力や苦勞が詰まっていることを改めて実感しました。また、事業所での活動を通して、社会での人との接し方について考える機会にもなりました。学校では許されることでも、社会では通用しないことが多くあるため、失礼のないように一つ一つの行動を意識して取り組みました。大変なこともありましたが、仲間と協力しながら楽しく活動することができました。今回の体験で、将来に役立つ多くのことを学ぶことができ、本当によい経験になりました。
＜文化施設＞ 私は新川文化ホールでの職業体験を通して、「縁の下の力持ち」の大切さを学びました。また、利用者を第一に考え、事前の打ち合わせを行ったり、使用する部屋の椅子や机、ピアノなどを移動して利用しやすい環境を整えたりしている姿がとても印象的でした。この活動を通して、働くことには、自分が前に出るのではなく、誰かの活動を支える役割もあることを学びました。人のために全力で協力することは大変ですが、その分やりがいや魅力があることも分かりました。今回学んだ「縁の下の力持ち」という考え方を、これからの生活にも生かし、自分自身の成長につなげていきたいです。
＜医療・福祉＞ 職業体験で私は班長を経験し、大切だと感じたことが 2 つあります。1 つ目は、班員と協力して話をまとめることです。常に班員と協力し、話し合いでは全員が納得できるように進行することを心がけました。2 つ目は、時間をしっかり守ることです。時間を守ることは社会人としての基本であるため、互いに声を掛け合いながら行動しました。周りに迷惑をかけないためにも、日頃から当たり前のようにしていくことが大切だと感じました。さらに、班長という役割は想像していた以上に大変でしたが、一人ではなく、仲間の協力があってこそ組織が成り立つことを学びました。そして、周りの人への感謝の気持ちをもつことの大切さにも気付くことができました。この経験を生かし、これからは困っている人がいたら積極的にサポートし、多くの人を笑顔にできるような行動を心がけていきたいです。
＜保育園・幼稚園＞ 最初は、子どもたちとうまく関わることができるか不安でした。しかし、「お姉ちゃん先生」と呼んでくれたり、笑顔で話しかけてくれたりしたことで、とても嬉しい気持ちになりました。子どもたちは一人一人性格が異なるため、その子に合った接し方をすることの大切さを学びました。また、保育士の先生方は子どもたちの安全に気を配りながら、一人一人を温かく見守っており、保育士という仕事には大きな責任があることも知りました。特に印象に残っているのは、子どもたちが帰るときに「また明日ね」と言いながらハイタッチをしていたことです。子どもたちが楽しそうに過ごしている姿を見ると、私も自然と笑顔になりました。この 1 週間の職業体験を通して、人と関わる時は相手の気持ちを考えて行動することや、笑顔で接することの大切さを学びました。これからの生活でも、この経験を生かしていきたいです。

《9 月の主な予定》

※変更がある場合はホームページやあんしんメール等でお知らせいたします。	
＜9 月＞	1 8 日(金) 体育大会練習スタート
1 日(火) 始業式 確認テスト ※給食あり	2 5 日(金) 助産師さんの講演
4 日(金) 団結成	2 9 日(火) 体育大会予行
8 日(火) 生徒議会・委員会	3 0 日(水) 体育大会前日準備
選手役員決め	＜1 0 月＞
9 日(水) 研修会のため 5 限後放課	1 日(木) 第 8 0 回体育大会
1 1 日(金) 血液検査	2 日(金)、3 日(月) 体育大会予備日

社会に学ぶ「14 歳の挑戦」活動の様子



